

## ◎ SAE が定めるテディベアーカットの基準

### ラムクリップを基準とし全体に丸みをおびたカットスタイル

#### クリッピング

足裏、お腹、肛門周囲のみ

#### <後躯>

1. 趾止めは、45度丸く切り上げ、パッドにかからない。
2. 脚の太さは、ラムと同様、体長の1/3とする。  
後望した時、骨格と平行もしくは、Aラインに仕上げる。
3. タックアップは体長の後ろから1/3に位置する。
4. お尻の頂点を体高の1/6の高さに丸く作る。
5. 後肢側望はタックアップから足先、アンギュレーションは足バリのないラムクリップのように作る。

#### <中躯>

6. 背線は体長の後ろから2/3をキ甲にする。またキ甲の真下に前肢の後ろ側がくろのが望ましい。
7. 上から見てボディの幅は頭部からネックにかけて、なだらかなラインで繋がり、ウエストは確認出来る程度にする。前躯の幅と後躯の幅は、一緒である。
8. 体高の1/2にエルボーを位置するようにアンダーラインを決める。

#### <前躯>

9. 前肢の太さは、後肢と一緒に円柱型である。
10. 胸はアダムスアップルから胸を作る。わずかにふくらみをもたせて肢の付け根につなげる。

#### <頭部>

11. 顔は、ストップを中心に全体丸く作る。ストップ～頭頂＝ストップ～アダムスアップル
  12. 目の上、頭部は、わずかに隆起させ、丸くカット。
  13. マズルの毛(ムスタッシュの上側)を目に向かってコーミングした際、目にかからないよう、アーチ型にカット。
  14. マズルの作り方・耳の作り方
    - ①目の下、マズル上部は、浮き上がらないよう、すっきりカット。  
耳は、長さを保ち、裾を扇形にカット。
    - ②ストップから鼻先にかけて膨らみを持たせ、マズルを楕円形にカット。  
耳は、縁ギリギリの長さで全体丸くカット。耳表面の毛をふかし、表面も丸くカット。
- ※ 初級は① 中級は①、②いずれも可。  
初級時②も可だが、難易度を要するため、基本①。

15. 頸の太さは、頭部より決して細くはならない。
16. テールは、背線から水平に持ち、背線と同じ長さで円柱状に作る。
17. 腹止めは、クリッピングにかからないようにする。

◎ イメージ写真



<顔>



<後望>



<上望>



<側望>